



山口県の産業戦略と コンビナート企業間の連携促進

平成27年5月14日（木）

山 口 県

目次

- 今、なぜ産業戦略か
- 山口県の産業戦略
- やまぐち産業戦略推進計画
- コンビナート企業間の連携促進



山口県の産業構造

第2次産業の割合が大きい『工業県』

県内総生産に占める第2次産業比率 **35.4%** (全国 23.5%)

➤ 瀬戸内沿岸に、化学工業、石油・石炭製品製造業、輸送用機械器具製造業、鉄鋼業などの企業が多く立地

➤ 「基礎素材型」に特化
(製造品出荷額等、工業統計調査H25確報)

- ・ 基礎素材型 73.6%
 - 石油 28.8%
 - 化学 23.7%
 - 鉄鋼 8.2%
- ・ 加工組立型 20.7%
 - 輸送 14.9%

【製造品出荷額等】

山口県 6兆7,979億円 (H25確報)

全 国 292兆 921億円 (H25確報)

- 伸び率(11.7%) → **全国1位**
- 1事業所当たり(35.9億円) → **全国1位**

山口県の産業集積

◆三地域内に石油化学等のコンビナートが形成

◆複数のコンビナートの形成は全国でも唯一

注) コンビナート：原料、燃料、工場施設を計画的に結びつける企業集団の集中的立地

出光興産(株)、東ソー(株)、日本ゼオン(株)、
(株)トクヤマ、山口リキッドハイドロジェン(株)、
昭和電工(株)、日新製鋼(株)、東洋鋼鈑(株)、
鋼鈑工業(株)、新日鐵住金ステンレス(株)
JX日鉱日石エネルギー(株) ほか



宇部・
山陽小野田
地域

周南地域

岩国地域

宇部興産(株)、チタン工業(株)、
セントラル硝子(株)、
西部石油(株)、共英製鋼(株) ほか

JX日鉱日石エネルギー(株)、
三井化学(株)、帝人(株)、
東洋紡(株)、日本製紙(株) ほか

本県産業における 瀬戸内コンビナートの重要性

◆本県の中心的な製造拠点での**製品出荷額は7割**を占める

◆雇用の大きな**受け皿**

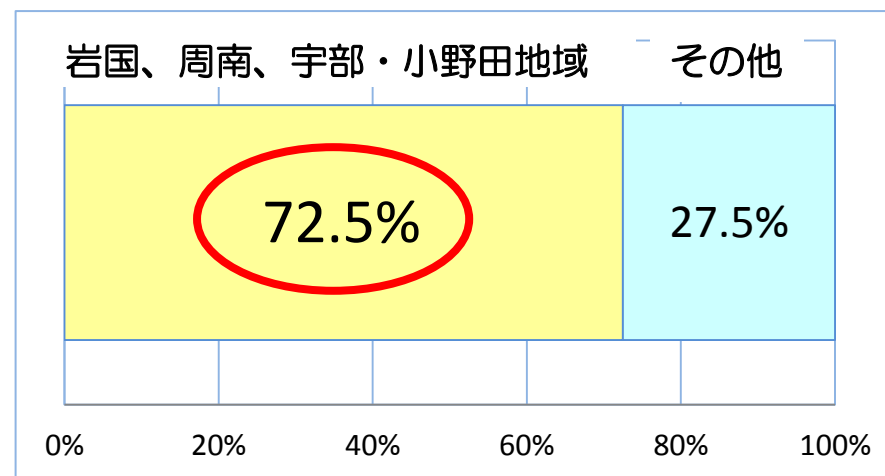
- ・県内就職を希望する工業高校生
(約1,200人)等の多くを受け入れ

◆高い**技術力**

- ・省エネ、省資源型生産、最先端の研究開発等
- ・工業高校、高専からの人材供給

◆次世代産業の**育成・集積基盤**

- ・医療、環境・エネルギーの集積
- ・大量かつ高純度の水素生成



資料：「平成25年工業統計調査」

『国際競争の激化』『国内需要の後退懸念』など・・・

課題への対応が急務

山口県の産業戦略

【基本的な考え方】

全国的にも優れた瀬戸内沿岸の産業集積を活かし、より強い産業を創っていく

- ◆ 産業発展の基盤となる港湾や道路等の**インフラ整備・充実**
- ◆ 成長が期待される環境・医療分野における**次世代型産業の育成・集積の促進**
- ◆ 企業誘致をはじめとする**新規投資の促進**

瀬戸内産業の再生・強化を梃子にして、第1次産業から第3次産業まで、バランスのとれた産業力の増強

強みを活かし 力を伸ばして 創造する

輝く 活力あふれる産業集積県 やまぐち

やまぐち産業戦略推進計画

(平成25年7月計画策定、平成26年7月第一次改定、平成27年3月第二次改定)

目
標

強みを活かし力を伸ばして創造する

輝く活力あふれる産業集積県 やまぐち

産業再生の起爆剤となる **5つの「重点戦略」** 26の「プロジェクト」

5つの「重点戦略」

国際競争に打ち勝つ「瀬戸内産業再生戦略」

全国をリードする「医療関連産業育成・集積戦略」

次代を担う「水素等環境関連産業育成・集積戦略」

おいでませ!「宿泊者数500万人戦略」

地域が輝く「農林水産業活力向上戦略」

「瀬戸内産業再生戦略」のプロジェクト

- 1 物流拠点港湾の機能強化
- 2 工業用水の安定供給
- 3 物流等基盤の強化
- 4 付加価値の高い研究開発・設備投資等の促進
- 5 産業インフラの長寿命化
- 6 **コンビナート企業間の連携促進**

新設

コンビナートの国際競争力強化に向けた取組

産業基盤の整備

- 物流拠点港湾の機能強化
 - ・国際バルク戦略港湾等の整備
- 工業用水の安定供給
 - ・島田川分水の事業化等

新たな研究開発・事業化への支援

- 補助金の創設と活用
 - ・「やまぐち産業戦略研究開発等補助金」や国等の競争的資金を活用した研究開発・事業化支援
(医療関連産業、環境関連産業等)

産業を支える人づくり

- ものづくり産業等を支える人材の育成
 - ・産官学による産業人材育成プログラムの開発・実施等
(次世代イノベーションコース、プラント高度危機管理コース)
- 高度産業人材等の還流促進
 - ・技術開発等を担う高度産業人材の確保等
(奨学金返還補助制度の創設・実施)

『瀬戸内産業の活性化と企業間連携』（産業戦略本部分野別会合）

現状と課題の整理

- ▶ 本県のコンビナートが、将来にわたって発展・成長していくためには、ハード面に加えソフト面の取組が必要
- ▶ 特に、生産活動の効率化や産業保安の確保に向けては、企業や分野を超えた連携が必要
- ▶ 企業からは、行政に対し、港湾、工業用水等の産業基盤の整備に加え、企業が主体的に取り組む企業間連携への側面的な支援を期待する声

委員・有識者からの主な意見

- ・ 企業間連携は次の10年、20年先を見据えて取り組むべき。
- ・ 企業間で連携を進めるべきで、安全管理、設備管理、人材育成などの分野で考えられる。
- ・ 小さなことから取組むべき。オペレータ教育など安全確保の取組は連携の足がかりになる。
- ・ ハードだけでなく、ソフト面の連携も必要。安全事例の共有やトラブルの回避などで、企業間で相談できる信頼関係をつくることができる。
- ・ 地域で連携協議会のようなものをつくっていく。その場合、県が入る等、仲介役が必要。

《参考》産業戦略本部分野別会合(瀬戸内産業) 【平成26年9月開催；周南市】

- ・ メンバー 宇部興産、武田薬品工業、帝人、東ソー、トクヤマ、マツダ、出光興産、
JX日鉱日石エネルギー、セントラル硝子、徳山高専、日本製紙、山口大学大学院

コンビナートにおける企業間の連携促進

取組目標

企業間連携による具体的な取組の促進

《実現件数 延べ3件以上》

コンビナート企業間の有機的な結び付きの維持・強化

取組の方向性

- ・瀬戸内コンビナートの国際競争力のさらなる強化に向け、分野別会合における意見・提言を踏まえ、「コンビナートにおける企業間連携の促進」に取り組む。

具体的な取組

◇ 全県的な連携体制の構築

- ・「山口県コンビナート連携会議」の設置・運営

◇ 各地域コンビナートにおける企業間の連携促進

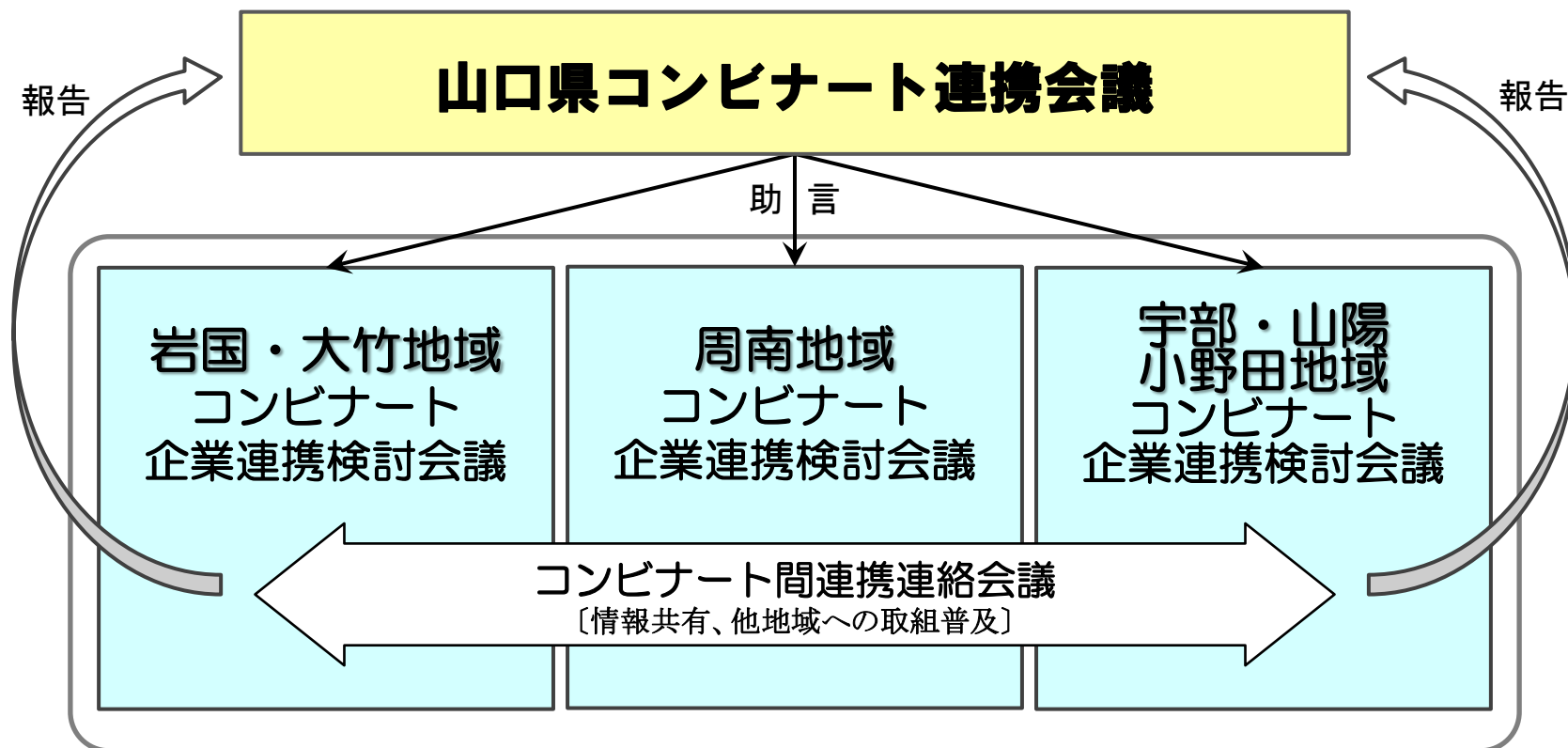
- ・「コンビナート間連携連絡会議」の設置・運営
(岩国・大竹、周南、宇部・山陽小野田地域の各コンビナート)

◇ 企業間連携の気運醸成

- ・勉強会、シンポジウムの開催

< 取組イメージ >

瀬戸内産業の再生・強化に向けた企業間連携の促進



《地域別検討会議の設置・開催方法等》

- ★地域会議の設置に向け、座長企業等との調整を進め、準備が整った地域から、順次、会議を設置する。
- ★座長企業を中心に、連携の取組状況や企業の意向等を踏まえ、地域ごとに、会議の設置時期、開催の形式、頻度、内容等を決定する。

< 今後の予定 >

- 5月14日
 - ・山口県コンビナート連携会議の設置及び開催
 - ・キックオフシンポジウムの開催
- 6月以降
 - ・地域コンビナート企業連携検討会議の設置・開催
 - ・コンビナート間連携連絡会議の開催

【参考】地域コンビナート企業連携検討会議の取組イメージ

● 体制の構築

● 検討テーマの設定

● 連携内容の検討

コンビナート企業間連携の具現化

支援

連携調整

- ・金融機関
- ・教育機関
- ・関係機関
- ・国
- ・関係市町

山口県(事務局)